

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	Let's enjoy いくさかを五感で感じる観光事業
事業主体 (連絡先)	生坂村観光協会 (0263-69-3112)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,530,568円 (うち支援金: 2,802,000円)

事業内容

1. 京ヶ倉登山口に登山コースの案内看板を設置した。また、登山道から筑北村、麻績村方面が開けて見える箇所に山々の説明看板の設置を行い、登山道整備も行った。
2. 大城・京ヶ倉ガイドブックを作成し指定したポイントにおいて自身と風景を合わせて撮影した証を、道の駅いくさかの郷へ提示していただき、登頂バッジの贈呈を行った。
3. VR動画を作成し、信州夢街道フェスタ及びNBS祭りにおいて来場者に当村のアクティビティについて疑似体験をしていただくとともに、観光パンフレットの配布等を行い、来場者へ広くPRを行った。



【土づくり講習会】

【目標・ねらい】

- ①快適に登山が出来るよう整備や案内看板の設置
- ②登頂バッジの贈呈
- ③大規模イベントでのPR活動

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①登山道の整備や案内看板の設置、ガイドマップの作成等により快適な登山環境の維持、整備が図られた。
- ②登頂バッジの贈呈により話題性及び登山者の増加が図られたとともに、バッジの引き渡し場所を道の駅いくさかの郷にすることで、登山後に施設を訪れ、利用してもらおうという道筋をつくる事が出来た。
- ③規模イベントにおいて、村内アウトドアアクティビティのVR体験を通じて村を訪れてもらうための第一歩となるような宣伝・PRが図られた。

※自己評価【B】

【理由】

快適な登山が出来るよう環境整備が図られた。また、登頂バッジの引き渡し場所を村内施設にすることで施設の利用の道筋をつくる事が出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・引き続き快適な登山環境の維持、整備を行うとともに、登頂バッジの贈呈により話題性及び登山者の増加を図り、登山後に村内施設を訪れ、利用してもらおうという道筋を確立していく。
- ・県内外へのPRを実施するとともに、イベント等に参加をし、村内アウトドアアクティビティのVR体験を通じて村を訪れてもらうための第一歩となるような宣伝・PRを実施していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある